

積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和3年6月9日 No. 13 文責：佐野紳二

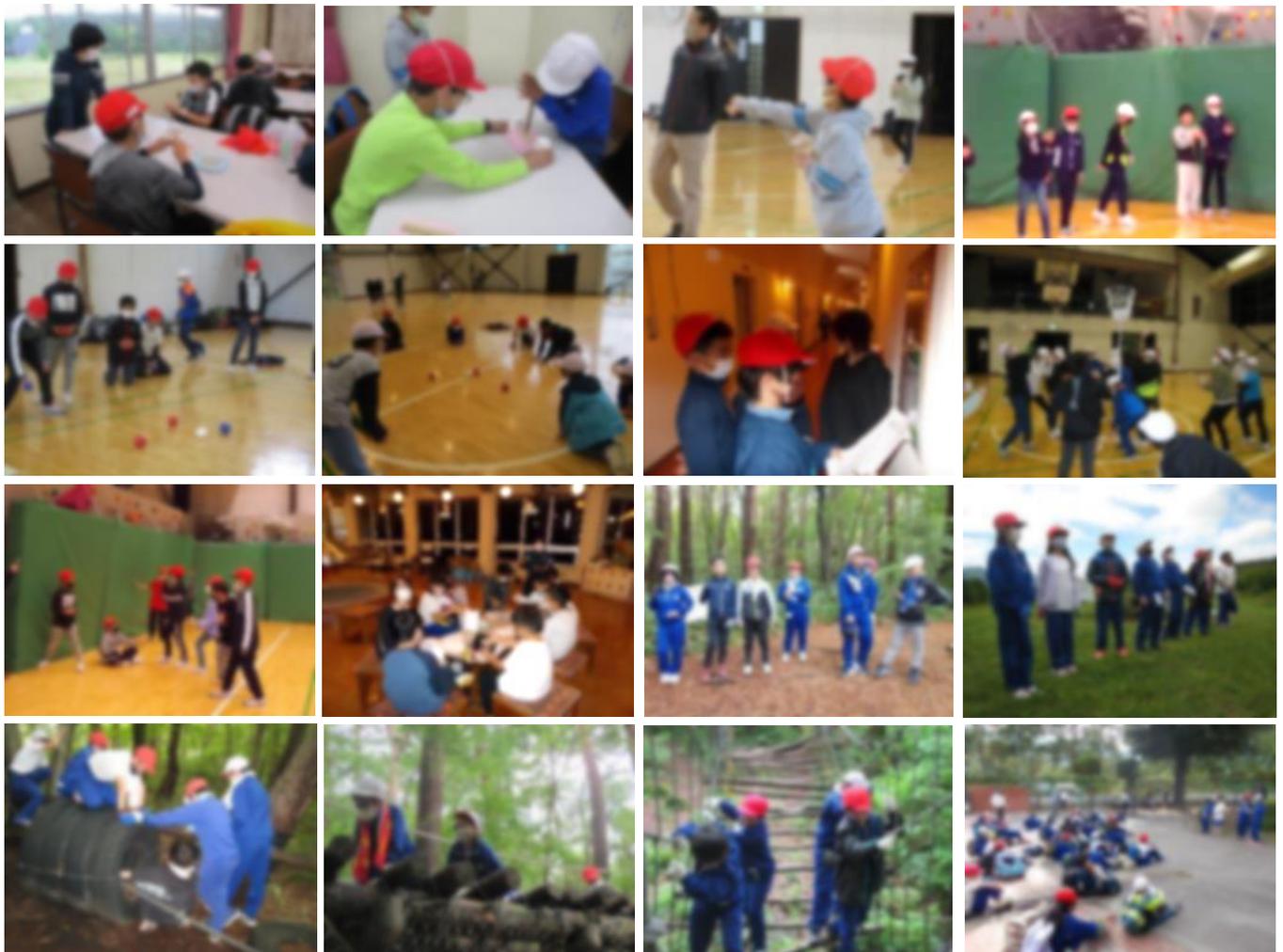
林間学校 大自然の中でたくさんのことを学びました

4日（金）と5日（土）、八ヶ岳少年自然の家で5年生の林間学校が実施されました。4日はあいにくの雨で、予定していた美し森絵図ハイクはできませんでしたが、代わりに竹とんぼを作って飛ばしたり、館内クイズラリーや軽スポーツ、体育館でのミニ運動会をしたりして、仲間と楽しい時間を過ごすことができました。2日目は晴天に恵まれ、冒険ハイクとスコアオリエンテーリングに挑戦しました。

1泊2日の活動を通して、子どもたちは今まで気づかなかった仲間のよさや、協力することの楽しさを感じ取ってくれたのではないかと思います。行程をすべて終え、学校に帰ってきた子どもたちは、とても疲れた様子でしたが、一人一人の表情の中には、疲れの中にも2日間の活動に対する満足感・充実感を見て取ることができました。今回の林間学校のテーマ、「みんなで協力し合って、安全に楽しく仲良く、きずなを深める林間学校にしよう」が達成できた、実り多い林間学校になったようです。



保護者の皆様には、持ち物の準備や子どもたちの健康管理など、さまざまな面でご協力をいただき、ありがとうございました。



2年生は地区探検に行ってきました 第1弾は上宮地地区でした

2日(木)、2年生は生活科で地区探検に出かけました。上宮地、曲輪田、桃園の各地区の見学をするのですが、この日は第1弾として上宮地地区に行ってきました。郵便局やお地藏様を見学した後、楯形総合公園では井戸水をポンプでくみ上げる体験もしたそうです。交通ルールや約束をしっかりと守って、楽しく探検ができたようです。(今日は曲輪田地区に行ってきました。その様子はまた後日)



知識・技能も大切です 家庭学習へのご協力を改めてお願いします

これまでの学校教育は、たくさんの知識・技能の獲得と、それらを正確に再現できることに重点を置いて指導がなされてきたこと、そして、現在では社会の変化に伴い、「思考力・判断力・表現力」が重視されるようになってきたということをお伝えしました。

このように書いてくると、「知識や技能を獲得することには意味がない」と受け止められてしまう恐れがありますが、決してそうではありません。思考力とは「今まで学習したことや自分で調べたことなどを比較したり、分類したり、関連づけたりしながら、これまでに経験したことのない問題を解決していく力」のことです。

(学校通信 No.11 を参照) 要するに、自分の中にある「もともとなる知識や技能」がなければ、それらを「比較・分類・関連づけ」することはできないのです。ですから、「基礎基本となる知識・技能の習得」は必要ないわけでも、軽視されているわけでもありません。ただ、これまでは一つ一つの知識や技能を「どのように使うか(=比較・分類・関連づけにより、未知の課題の解決を図っていくか)」が(どちらかというと)軽視されてきたということなのです。



「知識・技能」に加えて、「思考力・判断力・表現力」が重視されるようになったことを知ることで、学校では授業のあり方が従来とは変わってきています。「主体的・対話的で深い学び」と言われています) 実際に行われている授業も、従来行われてきた「講義型」の授業から、対話や調査、表現などを重視した授業へと変わってきています。しかも、学習する内容(獲得を求められる「知識・技能」)や量はこれまでと変わりません。(むしろ、外国語やプログラミング学習など、新しい内容が

追加された分、増えています)

我々教職員も、子どもたちの「思考力・判断力・表現力」を育成する授業をどのように仕組んでいくか、毎日研究しながら授業を行っています。保護者の皆さんも、子どもたちの学習に興味を持っていただき、時には一緒に教科書を読んだり、算数の問題を一緒に考えたりしていただくとありがたいです。また、知識・技能を定着させるためには、どうしても「反復練習」が必要になります。4月に行った学年部会の資料の中にある「家庭学習の手引き」を参考にして、家庭学習の定着にも力を貸していただくとありがたいです。



以上で学力の話は一区切りです (^^♪